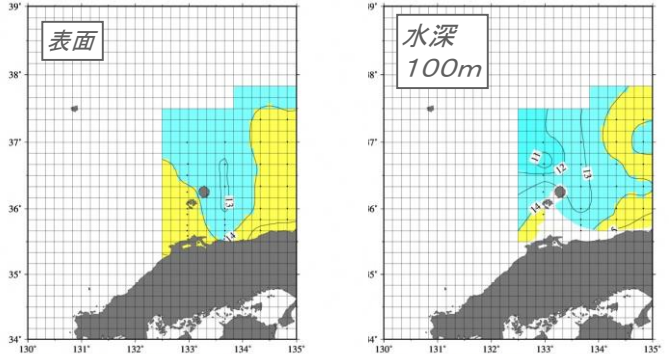
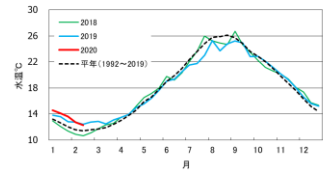




鳥取沿岸の水温

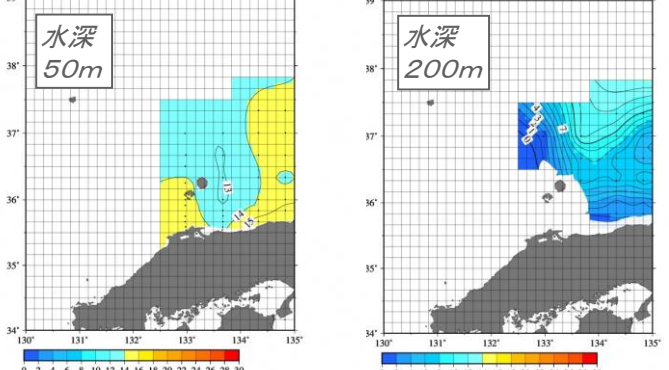
鳥取県栽培漁業センター 沈砂槽
(電話:0858-34-3321)

2月中旬 12.2℃
平年より 約0.8℃高め



鳥取県沖と隠岐諸島周辺海域の水温は13～14℃で、平年より1℃高い値となっています。

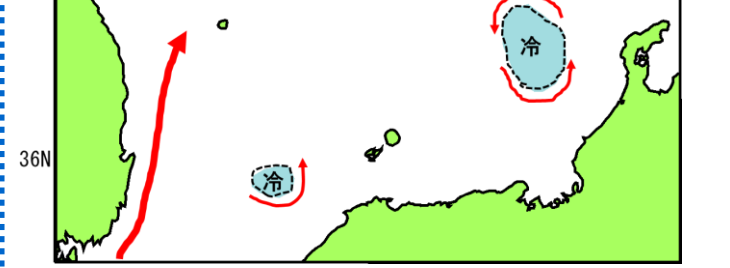
水温は13～14℃を示し、平年より1℃高い値となっています。



水温は13～14℃を示し、平年より1℃高い値となっています。

隠岐諸島北東北緯36°40'以北に暖水域(7～13℃)があります。

2月上旬の水塊配置と対馬暖流

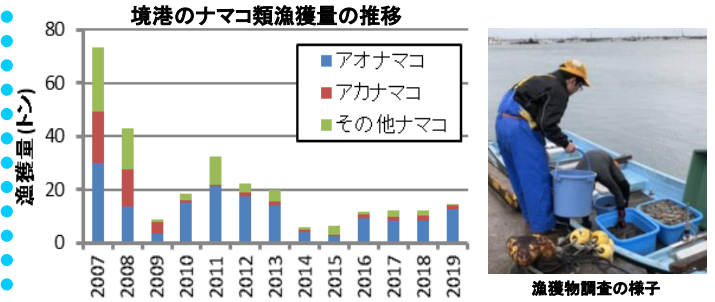


鳥根沖冷水	浜田沖北緯35°40'付近(10℃以下)に認められます。
山陰・若狭沖冷水	若狭湾沖北緯37°から37°40'付近(10℃以下)に認められます。
対馬暖流 主流の流路	朝鮮半島東岸に沿って北上する流れが認められます。浜田沖冷水塊に沿って北方に向かう流れが認められます。また、若狭湾沖の冷水塊の周辺に反時計回りの流れが認められます。

*県内の漁獲情報については水産試験場ホームページ(鳥取県水産試験場で検索してください)に詳しく掲載しています、是非ご利用ください。

水産試験場

アオナマコの資源調査に取り組みます!



境港の美保湾では、2009年以降、アオナマコの漁獲量の減少が認められています。そこで、水産試験場と栽培漁業センターは、ナマコ資源の増加を目的とした調査研究を計画しています。水産試験場では美保湾における資源状態の把握および資源管理方法の確立を目的とした予備調査に着手しています。
調査への御協力、よろしくお願いします!

令和元年度第2回境港地区漁海況連絡会議
主催:水産試験場

3月16日(月)に予定しておりました「令和元年度第2回境港地区漁海況連絡会議」は、新型コロナウイルスの影響により中止にさせていただきます。

水産試験場

新たな資源管理システムの構築が進められています

平成30年12月に改正漁業法が成立し、水産業をこれまで以上に成長産業化するため新たな資源管理システムの構築が進められています。

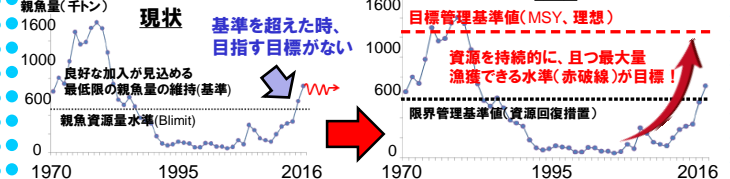
① 資源評価対象種の拡大

資源評価対象種を、平成30年度の50種から令和5年度までに200種へ拡大する予定。
50種 (平成30年度)
マジ・スワイガン・ハタハタ...

200種 (令和5年度)
べらんず・キジハタ・シイラ・モサエビ・あかはた・チダイ...等々、現在検討中

② 資源管理へ最大持続生産量(MSY)の考え方を導入

水産資源を最大持続生産量(MSY)を実現する水準まで維持・回復させることを目標とする管理を実施。



マサバ・ゴマサバ対馬暖流系群が新たな資源管理の先行実施魚種とされており、令和2年7月の漁期より適用するべく関係者・研究機関により検討が行われています。

栽培漁業センター

漁業者勉強会「とと塾R」第3弾
若手研究者による栽培漁業センター・水産試験場合同報告会

3月26日(木)・27日(金)に予定しておりました「漁業者勉強会『とと塾R』第3弾」は、新型コロナウイルスの影響により、中止にさせていただきます。

平成31年4月から下記2社の広告を1年間掲載することになりました。

いつの時代も、技術とサービスをもって水産業・漁業の皆様を支援してまいります

西日本ニチモウ株式会社

本社 山口県下関市小月小島2丁目3-17 〒750-1136
電話 083-282-4041(代表) FAX 083-282-0424
境港営業所 鳥取県境港市栄町67番地 〒684-0006 電話 0859-44-0475 FAX 0859-42-6330

潮に夢を

共和水産株式会社

代表取締役 岩田 祐二

〒684-0006 鳥取県境港市栄町65番地
TEL:0859-44-7171(代) FAX 0859-42-6530